

既設タワーにスロープを

追加工事は考えていない



山崎 正男 議員
やまさき まさお

共助の方法が早く円滑な避難ができるかと判断して、階段の幅員を2メートルと広く取り、上り口2カ所を整備すると決めてきたので新たにスロープの追加工事は考えていない。スロープを付けた場合の試算で一基3500万円となる。

問 これから高齢化社会になって10年、20年先になると、体力のある方もだんだんと弱ってきて、この高さのあるものを駆け上がるのは難しくなる。将来的に、既設の避難タワーについてもスロープができないか。

また、自力で逃げられない方や、要介護者等の支援基準の作成はできないか。

答 松本 情報防災課長

自ら上がることが困難な方は、階段を使用して数人で抱えて上がっていく、いわゆる

これらを住民と共有し、それを訓練していく繰り返し作業を、今後も検討していく。

環境整備

水路河川の
補強をすべき

適切な管理に
努める

問 防災上で危険と思われる水路や河川等の補強や改修に対し、積極的な執行をすべきではないか。

各集落の現状を再確認し、町の計画的な執行が必要ではないか。
危険個所の把握状況はどうか。

答 今西 建設課長

維持管理の中で問題のある個所から施工していきたい。

各集落は、先の台風でもかなりの被害が起こり、現状把握はしているが、今後も適切な管理に努めていきたい。

浚渫は砂の捨て場がない。事業費の中でそれができるような努力も、今後していか



谷水が氾濫し浸水した馬地地区

なければならない。
馬地地区の排水等は現地調査を再度行い、実現に向けて検討していきたい。

排水口の埋没土砂の取り除きを今年度中の施工に向け、現地調査をして検討する。

白浜は豪雨により農地や家

屋への浸水被害が発生し、地域住民からも抜本的な解決を
【その他の質問】

図ってほしいとの要望を伺っており、暫定的な対策として、

※バス停管理について
※児童館運営について